

1 立候補ファイル

競技 / 種別

- 【オリンピック】 競泳、飛込、シンクロナイズドスイミング
- 【パラリンピック】 水泳

立候補ファイルでの後利用コンセプト

- 隣接する既存の辰巳国際水泳場同様、国際大会含む水泳各種別の大会会場
- 住民も使える水泳場

2 施設内容(暫定)

メインプール	50m×25m (10コース)		この内容は、立候補ファイル等に基づき、記載した内容です。現在、引き続き検討中の状況です。
サブプール	50m×25m (10コース)		
飛込プール	飛込プール : 25m×25m		
座席数	大会時 約20,000席	大会後 約5,000席	
延べ床面積	大会時 約57,850㎡	大会後 約32,920㎡	
関係諸室	運営関連諸室など		
その他	駐車場など		

※ 座席数は大会後に約15,000席を減築

3 立地・建築条件等

所在地	江東区辰巳二丁目1番35号 (辰巳の森海浜公園)		
土地所有者	東京都		
主な関連法規等	「都市計画法」・「建築基準法」・「港湾法」・「海岸法」・「海上公園条例」 「高齢者、障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例」 など		
	用途地域	第一種中高層住居専用地域 (建ぺい率70%/容積率300%)	
計画	東京の都市づくりビジョン	マリーナやスポーツ施設、大規模公園などを生かし、スポーツ・レクリエーション施設のネットワーク化や水辺へのアクセスを確保 (第3章の2「東京湾ウォーターフロント活性化ゾーン」)	
	江東区都市計画マスタープラン	<ul style="list-style-type: none"> 辰巳団地の建替え計画にあわせて、辰巳駅周辺を中心に、生活支援施設や高齢者等が安心できる住環境の誘導を進め、様々な世代の居住ニーズや、環境共生・景観形成に配慮したまちの形成を図ります。 辰巳の森海浜公園や辰巳運河などのさらなる活用を関係機関と連携して進め、公園や水辺を身近に楽しめる都市環境を形成していきます。 (第5章地区別のまちづくり方針 5-5南部地区 (2) 地区のまちづくりの方向性) 	
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> 運河に囲まれたウォーターフロント地区 首都高速をはさんで東に辰巳団地、南に物流施設ゾーン 		
交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> 東京メトロ有楽町線「辰巳」駅から徒歩約7分 JR京葉線・東京メトロ有楽町線・東京臨海高速鉄道りんかい線「新木場」駅から徒歩15分 		

1 立候補ファイル

競技 / 種別

【オリンピック】 ボート/カヌー(スプリント)

【パラリンピック】 ボート/カヌー

立候補ファイルでの後利用コンセプト

○都民のレクリエーションの場、憩いの場

○水辺の空間として都民に親しまれる場

2 施設内容(暫定)

座席数	大会時 約24,000席 (内立見席 10,000席)	大会後 約2,000席	この内容は、立候補ファイル等に基づき、記載した内容です。現在、引き続き検討中の状況です。
敷地面積	約30ha (水域除く)		
競技コース等	2,000m×108m (8コース)、ウォームアップエリア、回送路 ※ 東西締切により静水		
競技関連棟	艇庫、ラウンジ、会議室 等(延べ面積:5,890㎡程度)		
関連諸室等	関係者諸室、観客席 等 (延べ面積:3,590㎡程度)		
その他建築物	フィニッシュタワー、スタート施設		
その他	駐車場など		

3 立地・建築条件等

所在地	江東区青海三丁目地先 中央防波堤東西水路 ※東京港中央防波堤内側及び外側埋立地間の水路 (仮称:東西水路)		
土地所有者	東京都		
主な関連法規等	「都市計画法」・「建築基準法」・「港湾法」・「航空法」・「海上公園条例」 など		
	用途地域	市街化調整区域であり、用途地域の指定なし	
計画	海の森(仮称)構想 海上公園計画	水辺遊び、生き物観察、海辺の散策を想定したゾーン (「中央防波堤内側 海の森(仮称)」構想 答申)	
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> 「海の森公園」の整備が進められている 中央防波堤外側と若洲と結ぶ「東京ゲートブリッジ」が平成24年2月に開通 		
交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> 東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート」駅からバス約15分「環境局中防合同庁舎前」下車 東京臨海新交通臨海線ゆりかもめ「テレコムセンター」駅からバス約10分「環境局中防合同庁舎前」下車 		

1 立候補ファイル

競技 / 種別

- 【オリンピック】 バレーボール(インドア)
- 【パラリンピック】 シッティングバレーボール

立候補ファイルでの後利用コンセプト

- さまざまな室内競技大会やイベントを行うことができる大規模体育館
- 注目を集めるバレーボールの国内リーグ、国際大会の会場

2 施設内容(暫定)

座席数	大会時 約15,000席	大会後 約12,700席	この内容は、立候補ファイル等に基づき、記載した内容です。現在、引き続き検討中の状況です。
延べ床面積	約32,170 m ²		
競技エリア	メインアリーナ	※ バレーボールコート4面 又は ハンドボールコート 3面 配置可能	
ウォームアップエリア	サブアリーナ	※ バレーボールコート 2面 配置可能	
関係諸室	運営関連諸室など		
その他	駐車場など		

3 立地・建築条件等

所在地	江東区有明一丁目		
土地所有者	東京都		
主な関連法規等	「都市計画法」・「建築基準法」・「港湾法」・「海岸法」・「高齢者、障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例」 など		
	都市計画法	地区計画名	臨海副都心有明北地区 地区計画
	用途地域	第一種住居地域 (建ぺい率60%/容積率200%)	
計画	2020年の東京	スポーツ施設の充実 (2020年の東京 第4章(12)「四大スポーツクラスタープロジェクト」及び第5章「目標8」)	
	東京の都市づくりビジョン	緑豊かな旧防波堤や海の眺望景観を生かし、潤い豊かな住宅地と活力とにぎわいのある商業、業務機能、魅力ある文化、レクリエーション機能、学校などの公共・公益機能などがバランスよく複合した市街地を形成 (第3章の2「東京湾ウォーターフロント活性化ゾーン」)	
	臨海副都心まちづくり推進計画・有明北地区まちづくりマスタープラン・ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> 居住機能の周辺に、業務、商業、公益、スポーツレクリエーション機能などを配置 東西両入江の周辺には、ウォーターフロントの景観をいかした公園や公共共益施設を配置 	
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> 隣接地は海上公園計画地で、水際は親水公園エリア 最寄駅から計画地に向け、高層マンションや業務ビルが多く立地している 計画地の100m以内に幼稚園・保育園、小・中・高校、大学が集中している 		
交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> 東京臨海新交通臨海線ゆりかもめ「有明テニスの森」駅から徒歩約8分 東京高速臨海鉄道りんかい線「国際展示場」駅または「東雲」駅から徒歩約17分 		

1 立候補ファイル

競技 / 種別

【オリンピック】 カヌー(スラローム)

【パラリンピック】 -

立候補ファイルでの後利用コンセプト

○カヌー競技のほか、ラフティングなどのレクリエーションにも使える施設

2 施設内容(暫定)

競技施設	競技コース L=300m		この内容は、立候補ファイル等に基づき、記載した内容です。現在、引き続き検討中の状況です。
	練習コース L=200m		
	フィニッシュエリア (水面面積) 10,000㎡ 程度		
座席数	大会時 約15,000席 (内 立見席 3,000席)	大会後 0席 (大会後に撤去)	
	関係諸室		
運営関連諸室 など		その他	
<ul style="list-style-type: none"> 水深: 0.8 ~ 1.5m程度 ポンプによる人工水流 など 			

3 立地・建築条件等

所在地		東京都江戸川区臨海町六丁目1	
土地所有者		東京都	
主な 関連法規等	都市計画法	都市計画決定: 昭和39年2月 都市計画事業認可: 昭和39年12月	
	下水道法	事業計画: 昭和43年7月	
	建築基準法	用途地域	工業地域 (建ぺい率60%/容積率200%)
計画	東京の都市づくりビジョン	水辺の大規模公園や商業、文化、アミューズメント施設が立地する、広域的なレクリエーション空間を形成 (第3章の2 「東京湾ウォーターフロント活性化ゾーン」)	
周辺状況		<ul style="list-style-type: none"> 計画地は、葛西水再生センター用地内にある。葛西水再生センターは、首都高速道路を挟み南北の施設からなる。 周辺には、東側に葛西臨海公園、南側には東京湾、北側には葛西トラックターミナルや倉庫群、ゴルフ練習場、団地、病院がある。 	
交通アクセス		JR京葉線「葛西臨海公園」駅から徒歩約12分	

※ 施設の計画地を葛西臨海公園内から隣接の所有地に変更。

1 立候補ファイル

競技 / 種別

【オリンピック】 ホッケー

【パラリンピック】 視覚障害者5人制サッカー、脳性麻痺者7人制サッカー

立候補ファイルでの後利用コンセプト

○国内及び国際競技大会が開催できるホッケー場として、国内のホッケー普及、強化の拠点

2 施設内容(暫定)

メインピッチ 座席数	大会時 約10,000席	大会後 約4,000席	この内容は、立候補ファイル等に基づき、記載した内容です。現在、引き続き検討中の状況です。
サブピッチ 座席数	大会時 約5,000席	大会後 0席 (大会後撤去)	
ピッチ	<ul style="list-style-type: none"> ホッケーの国際規格を満たすコート2面 (メインピッチ1面、サブピッチ1面) 芝は人工芝 		
関係諸室	運営関連諸室など		

3 立地・建築条件等

所在地	東京都品川区八潮四丁目1番19号 / 大田区東海一丁目 (大井ふ頭中央海浜公園)	
土地所有者	東京都	
主な関連法規等	「都市計画法」・「建築基準法」・「港湾法」・「海上公園条例」・「高齢者、障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例」など	
	用途地域	【品川区内】第一種住居地域 (建ぺい率60%/容積率200%)
計画	品川区まちづくりマスタープラン	戸越公園や林試の森公園、東品川海上公園等のまとまりあるみどりを有する大規模な公園・緑地を「みどりの拠点」と位置付け、都市環境の維持保全、防災・減災、レクリエーション、観光・交流、景観等、多様な機能の発揮を図る。 (品川区まちづくりマスタープラン第4章4.4 水とみどりの整備方針)
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> 計画地は大井ふ頭中央海浜公園内。 海浜公園の周辺には物流施設や集合住宅がある。 	
交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> 東京モノレール「大井競馬場前」駅から徒歩約8分 	

1 立候補ファイル

競技 / 種別	
【オリンピック】	アーチェリー
【パラリンピック】	アーチェリー

立候補ファイルでの後利用コンセプト

- 周辺の緑地を取り込み、国内及び国際競技大会が開催できるアーチェリー場
- 学生選手権、日本選手権などの会場となるほか、都内アーチャーの日常的な活動拠点

2 施設内容(暫定)

マッチプレイ 座席数	大会時 約7,000席(仮設)	大会後 0席	この内容は、立候補ファイル等に基づき、記載した内容です。現在、引き続き検討中の状況です。
マッチプレイ	130m × 126m (天然芝) 2ターゲット		
ランキングラウンド	130m × 130m (天然芝)18レーン、36ターゲット		
関係諸室	<ul style="list-style-type: none"> ウォームアップエリア (天然芝) 運営関連諸室 など 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> マッチプレイ用エリアは、大会後原状復帰 ランキングラウンドが残る 防矢対策など 		

3 立地・建築条件等

所在地	江東区夢の島二丁目地内	
土地所有者	東京都	
主な関連法規等	「都市計画法」・「建築基準法」・「都市公園法」など	
	用途地域	第一種住居地域 (建ぺい率60%/容積率200%)
計画	江東区都市計画マスタープラン	新木場駅北側では、スポーツ・交流・レクリエーション等に関連する機能が複合した拠点の再構築を目指します。 (第5章地区別のまちづくり方針 5-6南部地区(2)地区のまちづくりの方向性)
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> 夢の島公園内。園内には他スポーツ施設も立地。 公園外は物流施設等が中心。 	
交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> JR京葉線・東京メトロ有楽町線・東京臨海高速鉄道りんかい線「新木場」駅から徒歩約7分 	

1 実施競技及び会場

競技 / 種別

- 【オリンピック】 セーリング
- 【パラリンピック】 セーリング

若洲ヨット訓練所



現在のヨット訓練所について

- 初心者から上級者までを対象としたヨット教室や競技会の開催
- ジュニア・ユースのトレーニングの場を提供
- ヨット体験試乗会

立候補ファイル(若洲オリンピックマリーナ)での後利用コンセプト

- セーリングを始めとするマリンスポーツの拠点

2 施設内容

開所年月日:平成3年7月6日

現在のヨット訓練所	
施設面積	ヨットヤード: 14,000㎡ 施設面積: 47,235㎡ (うち水域 16,500㎡)
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・1号艇庫 (艇庫、事務室、講義室、更衣室・シャワー室) ・2号艇庫 (艇庫、更衣室・シャワー室、会議室) ・ヨットヤード、浮棧橋、展望台、監視塔
ヨット等	・教習艇各種: 63艇 ・救助艇: 7艇
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨットの帆走技術が取得できる都内唯一のディンギーの使用できる施設として、小学4年生から社会人までを対象にヨット教室を実施 ・ヨット祭りや競技会支援 (東京港レガッタ) など、スポーツ振興事業を実施

3 立地・建築条件等

所在地	江東区若洲三丁目1番1号 (若洲海浜公園ヨット訓練所)	
土地所有者	東京都	
主な関連法規等	「都市計画法」・「建築基準法」・「港湾法」・「航空法」・「東京都臨港地区内の分区における構造物に関する条例」・「海上公園条例」 など	
	用途地域	第一種住居地域 (建ぺい率60%/容積率200%)
計画	江東区都市計画マスタープラン	第5章地区別のまちづくり方針 5-6湾岸地区より ・マリーナや水上バスステーション (舟運用船着場)、埠頭、倉庫などを活用した、新たな水上レクリエーション空間の創出を、関係者ととともに検討します ・広域的な交通の利便性や大規模な空間を生かし、水陸での国際的なスポーツ施設立地を誘導するなど、スポーツを中心とした交流拠点の形成を推進します
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> ・若洲海浜公園内に若洲ゴルフリンクス、海釣り施設、サイクリングロードがあり、江東区立若洲公園 (キャンプ場・多目的広場等) に隣接 ・平成24年2月に「東京ゲートブリッジ」が開通 	
交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・JR京葉線・東京メトロ有楽町線・東京高速臨海鉄道りんかい線「新木場」駅から バス約10分「若洲ゴルフリンクス前」下車 	